

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 アキュライン・プレミアム	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アキュライン・プレミアム

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：アキュライン9

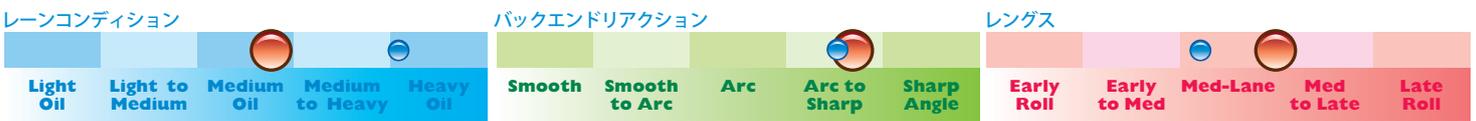
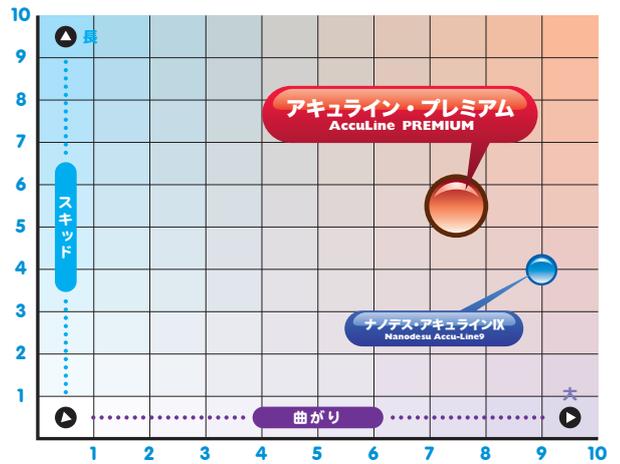
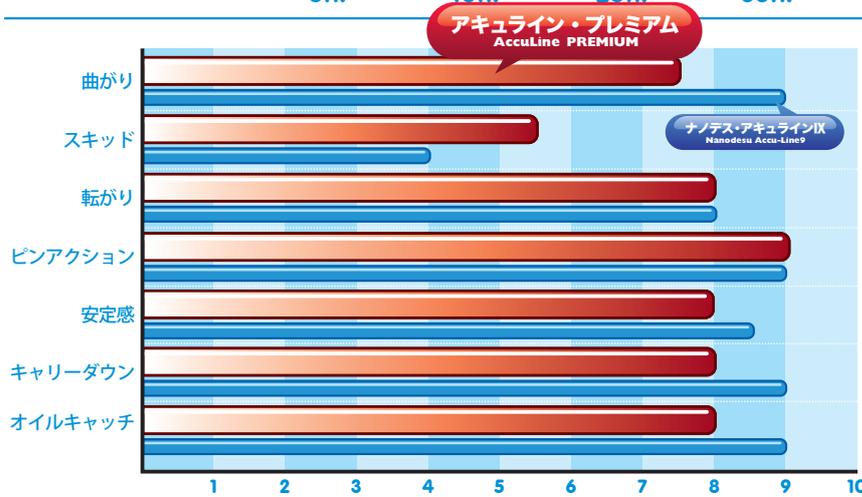
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



ボールの評価

数多く発売されているオイル系のボール選択肢の中、アキュライン9は昨年11月下旬の発売から多くのユーザーに支えられ、今尚生産が間に合わない程のビックセールスになっています。そのアキュライン9をベースにし、前作Pリーガー専用モデルとして発売したアキュライン8Plusの強化モデル、アキュラインPremiumをリリース致します。

アキュライン8Plusとほぼ同等のスキッド力とグリップの強さを出すこと。

アキュライン8と8Plusのちょうど中間の性能分布に合わせるため、国内生産の利点を活かし、日本エボナイト社協力のもと何度も作り直しを行い拘りを持って仕上げました。

アキュライン8と8Plusで使用したBIG Shuttleコアを今回Premium Coreに変更した経緯は、パフォーマンスの大半を担うカバーストックとの相性を見極め、採用したPremiumカバーストックとのベストマッチを目指したからです。爽快なスキッドから向きを変えてからの加速を味わえるフリップ感。その加速するようリアクションは、ピンヒットまで連動し、アキュラインシリーズの生命線でもある類稀なるピンアクションへと変わります。キャッチを前面に打ち出すのではなく、パワーの開放領域をミッドエリア以降に最大に上げてこそ”Premium”の称号でもあり、オイルなコンディション＝アキュライン9の系図からミディアムコンディションを制覇することがこのアキュラインPremiumの使命でもあり、開発コンセプトです。前回8Plus同様、今回のアキュラインPremiumも10,000POLISを施し、”鏡仕上げ”でお手元に届くでしょう。

ミディアムコンディションを中心にこのボールが脚光を浴びるのはすぐそこです。キュラインシリーズが多くの人に支えられている理由、今回も皆様に満足して頂ける自信作です。

特記事項

USBCスペックギリギリのRG2.46を設定し転がりを重視したモデル。カバーストックは粒径の大きいパール素材を使用し、10,000POLIS仕上げで、爽快なスキッドと転がりの絶妙なバランスが扱いやすいバックエンドを演出します。